

手がしびれる

手や足がしびれるという訴えはよくあり、私たちも手のしびれはない？と普通にお聞きしていますが、「しびれる」という言葉は日常的にいろんな意味で使いますので、よく聞かないといけません。私たちは、感覚障害（ジンジン・ビリビリ、触った感じが鈍い）を主にかんがえています、脳梗塞などで麻痺してうごかないのも（運動障害）「しびれ」と表現されることもありますね。

「しびれ」の語源ははっきりしないものの室町時代に「しびり」と言われていわゆる足のしびれがきれて動けないことを言っていたという話があり、運動障害のほうが意外に語源に近いのかもしれませんが。他に「しびれる試合だった」など感動したというような感情性の表現もありますね。

医学的に感覚障害の方のしびれは、だまってもビリビリ、ジンジンしたり触られただけでビリっとするなどの「異常感覚」、通常の痛み刺激が強く感じてしまうような「感覚過敏」逆に触った感じもわからないような「感覚鈍麻」「感覚脱失」などに分類されますが、なにも難しい言葉で医者の説明する必要はなく、自分の感じた言葉で言っただけでありがたいです。何もしなくてもジンジンします、電気がピリッとはしるみたいです、火傷みたいなヒリヒリする感じです、剣山でチクチク刺されるみたいです、なにかがへばりついたような変な感じですね、そもそも感覚や痛みはその人の感じ方ですから、我々もそのままカルテに記載して、これは神経性の障害かな、血管性の障害かな、感情的なものかななどを考えていきます。

手がしびれる→アタツたのではないかと、脳外科で頭の写真を・・・と慌てる方もおられますが、脳血管障害のほうでは、手が動かないといった麻痺、運動障害のしびれが主です

ビリビリとかジンジンとか痛みなど感覚性のしびれの時は、もちろん脳からもありますが、頸、肘、手首などで神経が障害されやすいところの原因をまず考えます。頸ならヘルニアや骨の変形による頸椎症、肘なら肘管症候群、手首なら手根管症候群などがよくある疾患です。後は、もっと指先での末梢神経障害や血管のトラブルでの血行障害なんかもありますのでしびれの部位、感覚障害の有無、起こり方などから原因を考えていきます。あたりをつけたところで、画像検査や精密検査、場合によっては薬の効き方や注射の反応などからも、診断を絞り込んでいきます。

しびれや痛みはご本人しかわかりませんから、治療が効かないよ～といった反応も含めて、遠慮なく、そのまま素直に感じたままを伝えていただければ、診断への近道かとおもいます。

しつこくマイナ保険証について

マイナ保険証はつかえますが、機械や通信トラブルもありますので、従来の保険証や資格確認情報（紙の文書やカードできているはず）もおもちください

お薬手帳もおもちください（マイナ保険証では直近一ヶ月以内の薬歴はわかりません）